

5

基本方針 5

美しい自然環境を 次代へ継承するまちづくり

1 健全で恵み豊かな環境の保全

- 1 自然環境の保全と活用
- 2 資源循環利用の推進
- 3 環境保全・美化活動の推進

2 自然エネルギーを活用した低炭素社会の実現

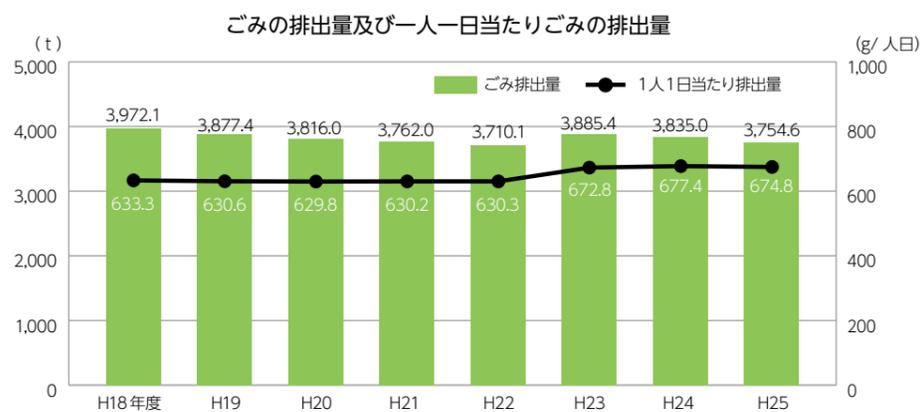
- 1 先導的な省エネルギー化の推進
- 2 再生可能エネルギーの導入推進
- 3 土地利用の合理化、町土の保全

基本方針5 美しい自然環境を次代へ継承するまちづくり

1. 健全で恵み豊かな環境の保全

現状と課題

- ◆ 本町は 273.34km²と広大な面積を持ち、その約7割を山林が占め、阿武隈川やその支流は優れた自然資源の宝庫となっています。この豊かな自然環境は、人々の生活に潤いを与えるだけでなく、自然とのふれあい、学習、レクリエーションの場としても様々な役割を担っており、保全に努めていく必要があります。
- ◆ 潤いのある生活を営んでいくためには、公園・緑地などの身近な緑の適正な維持管理や、良好な景観の保全と創出が求められています。
- ◆ ごみの減量化・再資源化や環境美化などについては、これまでも様々な取組みが行われてきましたが、引き続き町民・事業者・行政がそれぞれの役割を明確にしながら、より一層環境に配慮した取組みを推進していくことが望まれます。



資料：丸森町（一人一日当たり排出量は、各年4月1日現在の人口による）
 ※H25ごみ排出量は、一人一日当たり排出量×人口（H25.3.31現在）により算出

施策の基本方針

緑豊かな自然環境は、次代に引き継ぐべき町民の財産であり、町民・事業者・行政それぞれが主体的に参加し、自然環境の保全と活用や緑の創出、資源の有効利用を進めます。

施策体系

健全で恵み豊かな環境の保全

自然環境の保全と活用

資源循環利用の推進

環境保全・美化活動の推進

施策に対する目標	平成25年度 (現況値)	平成31年度 (中間値)	平成36年度 (目標値)	単位
豊かで住みよい環境に満足している町民の割合	—	50.0	75.0	%

主要施策の概要

①自然環境の保全と活用

豊かな自然を活かした河川公園や都市公園を適正に管理するとともに、住民ニーズに応じた新たな公園の整備や、「百々石公園」等の既存公園の再整備により、自然環境の保全と親しみを持って自然とふれあえる場づくりを進めます。

目標設定指標	平成25年度 (現況値)	平成31年度 (中間値)	平成36年度 (目標値)	単位
不動尊公園利用者数	9,661	9,800	10,000	人

主要事業

- ニーズに応じた公園緑地整備検討事業
- 景観計画策定検討事業
- 百々石公園再整備事業
- 公園緑地適正管理事業

②資源循環利用の推進

資源循環を基本的な取組みとし、3 R*に町民等が主体的に取り組めるような支援を行ないます。また、家庭や事業所から排出される廃棄物の適正処理を確保するとともに、廃棄物の不適正排出や不法投棄の対策を強化し、長期的に安心・安全で環境に与える負荷を低減させるごみ処理体制の確保を図ります。

目標設定指標	平成25年度 (現況値)	平成31年度 (中間値)	平成36年度 (目標値)	単位
町民参加型環境講座参加者数	20	30	50	人
リサイクル率	23.7	25.0	25.0	%

主要事業	●ごみ減量化・リサイクル推進事業	●一般廃棄物処理事業
------	------------------	------------

③環境保全・美化活動の推進

地域の特性や環境資源を生かしながら、町民が主体的に環境保全や美化活動に取り組むことができる支援を行います。また、「丸森町環境基本計画」に掲げる町を目指すとともに、環境教育・環境学習の充実を図り、環境の保全と創造に主体的に取り組む人材を育てます。

目標設定指標	平成25年度 (現況値)	平成31年度 (中間値)	平成36年度 (目標値)	単位
一斉清掃活動参加者数	2,489	2,700	2,900	人

主要事業	●丸森町環境基本計画推進事業	●環境学習活動推進事業
	●不法投棄対策事業	



※3 R
Reduce リデュース（廃棄物の発生抑制）、Reuse リユース（再使用）、Recycle リサイクル（再資源化）のこと

2. 自然エネルギーを活用した低炭素社会の実現

現状と課題

- ◆ 地球温暖化、オゾン層破壊、天然資源の枯渇、廃棄物の増加など様々な環境問題を背景に、環境へ配慮した取組みが以前にも増して強く求められています。
- ◆ 化石燃料の使用拡大が地球温暖化に大きな影響を与えるといわれる中で、環境への負荷が少ない再生可能エネルギーが注目されています。自然環境に恵まれている本町にあっては、地球温暖化への影響が最も大きいとされる二酸化炭素を吸収する森林の保全・育成とともに、潜在的なエネルギーの活用について検討し、環境負荷の軽減に努めていく必要があります。
- ◆ 近年急激に進む人口減少や高齢化の影響を受け、荒廃した山林や耕作放棄地などが増加していますが、こうした土地を適正に管理するため、「国土利用計画」を見直し豊かな自然環境の保全に努めていく必要があります。



施策の基本方針

省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの導入促進などにより、地球環境への負荷を軽減する低炭素社会*の実現に向けた取組みを進めます。



※低炭素社会
二酸化炭素の排出が少ない社会のこと。

施策体系

自然エネルギーを活用した低炭素社会の実現

- 先導的な省エネルギー化の推進
- 再生可能エネルギーの導入推進
- 土地利用の合理化、町土の保全

施策に対する目標	平成25年度 (現況値)	平成31年度 (中間値)	平成36年度 (目標値)	単位
自然や木々の緑の豊富さに満足している町民の割合	79.2	80.0	80.0	%

主要施策の概要

①先導的な省エネルギー化の推進

低炭素社会の実現と限りある資源の有効利用のため、行政が率先して環境に配慮した取組みを進めるとともに、町民一人ひとりの省エネルギーへの意識の向上と行動の重要性について広く町民に呼びかけ、周知を図っていきます。

目標設定指標	平成25年度 (現況値)	平成31年度 (中間値)	平成36年度 (目標値)	単位
公共施設等のエネルギー使用量の削減率	—	2.0	5.0	%
公共施設の省エネルギー化率	10.0	20.0	30.0	%

主要事業 ● 役場庁舎環境配慮型改修事業

②再生可能エネルギーの導入推進

住宅用太陽光発電設備に対する補助金の交付等により一般家庭や事業所における、環境にやさしく、分散型によるエネルギー供給が可能な再生可能エネルギーの導入を推進します。また、地域の特性を活かした再生可能エネルギーの導入を町民が主体となって検討することで、地域が抱える課題解決への一助となるように事業の取組みを支援します。

目標設定指標	平成25年度 (現況値)	平成31年度 (中間値)	平成36年度 (目標値)	単位
導入検討個別部会設置数	0	5	8	件
再生可能エネルギー事業取組み数	0	2	4	件

主要事業 ● 再生可能エネルギー利活用・導入推進事業 ● 地域主導型再生可能エネルギー導入支援事業

③土地利用の合理化、町土の保全

本町の計画的な土地利用を推進するため、「国土利用計画」を策定し適正に誘導します。また、乱開発を防止し、緑豊かな環境を保全するため関係法令に基づいた適正な規制・指導を行います。

目標設定指標	平成25年度 (現況値)	平成31年度 (中間値)	平成36年度 (目標値)	単位
自然的土地利用面積（農地、森林、原野、河川等）	22,954	22,855	22,755	ha

主要事業 ● 国土利用計画推進事業 ● 土地開発調整事業